



佐世保市立福石中学校 学校だより

天神山

校訓：英知 友愛 正義

No. 5

福石中HP



令和5年6月2日（金）

文責：校長 堀川 優彦



いのちを見つめる日 校長講話より

6月より「いのちを見つめる強調月間」が始まりました。昨日6月1日は「いのちを見つめる日」として、朝から全校集会で校長講話を行いました。過去に佐世保市内の学校でいのちに関わる重大な痛ましい事件が起きたこと、そして41年前の「長崎大水害」で私自身が体験したこと、その時に思ったこと、考えたことについて話をしました。

～校長講話より抜粋～

「長崎大水害」が発生した当時、私は中学2年生でした。普段普通に暮らしていた町が大雨で川が氾濫し、あたり一面が濁流に飲み込まれ、目の前を何十台もの車が流れていき、一軒家がものすごい音を立てて、浮き上がったかと思うと崩れながら流されていく・・・その光景を目の当たりにしながら、自分自身も濁流に飲み込まれ、流され・・・それでも奇跡的に助かった一人となりました。もしかしたら300人目の犠牲者になっていたかもしれません。普段、当たり前のように朝起きて、学校に行き授業を受けて部活を目いっぱいして、家に帰って・・・と繰り返していた日常が、初めて当たり前ではないと気が付いた瞬間でした。はじめていのちと向き合った瞬間でした。

生きていることが当たり前でないと感じた時、私は2つのことを考えました。

1つは「今を一生懸命生きる」ということ。人間生きていると今がきつかったり、苦しかったりするときもあるでしょう・・・しかし、少し時間がずれると、今が楽しかったり、うれしかったりすることもある・・・その繰り返しだと思います。だからどんな状況にあっても「今を一生懸命生きる」ことが大切なのです。今できることに全力を注ぐことが大事だと思います。

そして、もう1つが「自分を、そして自分の周りの人を大事にする」ということ。人間一人で生きていくことは不可能です。自分を大切にしながらも、自分を支えてくれる人への感謝の気持ちや、周りの人を認める謙虚な気持ち、決して周りの人を攻撃したり、迷惑をかけたりしないように心がけることこそが、いま求められていることではないかと思います。

福石中学校の校訓「英知 友愛 正義」という言葉には自らのいのちと周りのいのちを大切に、人として立派に成長してほしいという想いも込められています。

6月は改めていのちを見つめる話や学びの場面がたくさんあると思います。何気ない日常が当たり前でないということ、ならば今自分はどのように生きていかなければならないかということを考える機会にしてほしいと思います。



道徳の公開授業を実施しました。



「いのちを見つめる強調月間」の取組の一つとして、5月29日（月）～6月2日（金）を学校公開週間とし、本日、全学年の道徳公開授業を実施しました。



1年生は「いのちをいただく」、2年生が「※トリアージタグについて」、3年生は「ペットのいのち」をテーマに真剣にいのちと向き合い、考え、一生懸命取り組んでいました。

是非、ご家庭でも話題にさせていただき、子どもたちの考えを深める機会にさせていただきたいと思います。

※トリアージタグ・・・災害時などで同時に多数の傷病者や負傷者が発生した場合、緊急度・重症度などに応じて治療における優先順位をつけるための識別表のこと。



本校ホームページにも行事予定や各種便り等、様々な情報が掲載されていますのでご覧ください。